



乳 腺 内 科

【診療科部長メッセージ】

乳腺内科では乳腺センターにおいて乳腺外科、放射線治療部、病理、他職種との協調による医療を推進しています。また、総合腫瘍科と連携して化学療法、乳腺内科の診療と外来治療センターの体制を強化する目的に、公募を行いスタッフを増員することになりました。レジデントはすでに多くの応募が来ており、指導的立場になる方の公募も行っています。

乳癌薬物療法は乳癌治療における大きな役割を果たし、今後さらに重要性になるだろうと予測されます。乳腺内科では乳癌薬物療法の臨床、研究、教育に力を注いでいます。現在、月に 900 人以上の乳癌患者さんが外来化学療法を受けています。当院では乳腺外科、放射線治療部、乳腺病理、コメディカルのチーム医療を実践しています。研究は分子標的薬剤の治験、遺伝子診断による術前化学療法などの自主研究、循環癌細胞などの基礎研究を行っています。レジデント制度はすでに 77 人(平成 13 年 7 月から平成 24 年 7 月まで)が研修を終了。今般、乳腺内科スタッフとして診療、研究、教育に従事し、日本の乳癌治療を発展させる意欲に溢れた人材を 1 名人柄がよく、チームとしての医療を推進する方を募集いたします。経歴、論文業績評価の書類審査、面接、仮採用による試用期間を経て正式採用になります。

乳腺内科 部長 伊藤 良則